



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タチエス  
コード番号 7239 URL <http://www.tachi-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田口 裕史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 野上 義之

TEL 042-546-8117

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	167,166	24.6	9,837	196.3	11,474	145.2	7,107	179.7
22年3月期第3四半期	134,127	△28.5	3,320	63.3	4,679	113.0	2,540	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	218.81	—
22年3月期第3四半期	81.84	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
23年3月期第3四半期	104,433		52,180		46.3		1,472.55	
22年3月期	96,610		45,559		43.9		1,365.56	

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 48,360百万円 22年3月期 42,391百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6.00	—	5.00	11.00
23年3月期	—	6.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	216,000	12.4	10,000	65.3	12,000	51.2	7,200	90.1	221.09

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 35,022,846株 22年3月期 35,022,846株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 2,181,240株 22年3月期 3,979,433株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 32,482,487株 22年3月期3Q 31,045,317株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州での財政不安や先進諸国の失業率高止まりなど、引き続き先行き不透明な状況で推移しましたが、中国等新興国の経済成長に牽引され、全体的には緩やかな回復に向かいました。

当社グループの関連する自動車業界におきましては、国内でのエコカー補助金終了後の需要落ち込みは見られるものの、上半期における補助金終了前の駆け込み需要や中国等新興国の需要増大により総じて自動車生産は堅調に推移しました。

このような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、国内外ともに自動車座席の販売は回復基調で推移したことから、売上高は1,671億6千6百万円と前年同期に比べ330億3千8百万円(24.6%)の増収となりました。この結果、営業利益は98億3千7百万円(前年同期比196.3%増)、経常利益は114億7千4百万円(前年同期比145.2%増)、四半期純利益は71億7百万円(前年同期比179.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①日 本

売上高は900億6千4百万円(前年同期比18.4%増)、営業利益は46億4千7百万円となりました。

#### ②米 国

売上高は317億1千5百万円(前年同期比13.7%増)、営業利益は20億8千万円となりました。

#### ③カ ナ ダ

売上高は103億2百万円(前年同期比42.4%増)、営業利益は4億5千9百万円となりました。

#### ④メキシコ

売上高は188億8千8百万円(前年同期比45.2%増)、営業利益は10億5千8百万円となりました。

#### ⑤フランス

売上高は8億3千7百万円(前年同期比74.6%増)となりましたが、為替変動の影響等により営業損失1千3百万円となりました。

#### ⑥中 国

売上高は153億5千8百万円(前年同期比62.2%増)、営業利益は15億8千7百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,044億3千3百万円と前連結会計年度末に比べ78億2千3百万円増加しております。これは主に、減価償却等により有形固定資産が17億9千1百万円減少したものの、現金及び預金が128億7千2百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、支払手形及び買掛金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ12億3百万円増加し522億5千3百万円となりました。

純資産合計は、521億8千万円と前連結会計年度末に比べ66億2千万円増加しました。これは主に、為替変動の影響等により評価・換算差額等が24億7千3百万円減少したものの、四半期純利益の計上及び第三者割当による自己株式処分の実行等により株主資本が84億4千3百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期業績予想につきましては、平成22年11月10日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

#### ①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ③連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去するにあたり、当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

また、連結会社相互間の取引を相殺消去するにあたり、取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これにより、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### ②「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,887	12,015
受取手形及び売掛金	31,690	35,160
有価証券	323	489
商品及び製品	1,735	1,501
仕掛品	369	407
原材料及び貯蔵品	4,558	3,433
その他	2,899	5,114
流動資産合計	66,464	58,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,288	9,220
機械装置及び運搬具(純額)	5,602	6,335
その他(純額)	6,817	6,945
有形固定資産合計	20,709	22,500
無形固定資産		
	518	684
投資その他の資産		
投資有価証券	14,086	13,189
その他	2,664	2,171
貸倒引当金	△9	△59
投資その他の資産合計	16,741	15,302
固定資産合計	37,969	38,487
資産合計	104,433	96,610

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,343	33,671
短期借入金	679	542
未払法人税等	1,335	1,142
その他	7,321	6,824
流動負債合計	43,679	42,181
固定負債		
長期借入金	3,114	3,465
退職給付引当金	1,979	1,811
役員退職慰労引当金	16	286
負ののれん	2	4
その他	3,461	3,302
固定負債合計	8,574	8,869
負債合計	52,253	51,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,145	8,145
資本剰余金	7,837	7,698
利益剰余金	38,138	31,448
自己株式	△1,959	△3,573
株主資本合計	52,162	43,719
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,332	1,241
為替換算調整勘定	△5,134	△2,568
評価・換算差額等合計	△3,801	△1,327
少数株主持分	3,819	3,168
純資産合計	52,180	45,559
負債純資産合計	104,433	96,610

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	134,127	167,166
売上原価	123,604	149,484
売上総利益	10,523	17,682
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	1,532	1,731
発送運賃	—	1,765
その他	5,670	4,347
販売費及び一般管理費合計	7,203	7,844
営業利益	3,320	9,837
営業外収益		
受取利息	48	112
受取配当金	70	79
負ののれん償却額	2	2
持分法による投資利益	831	1,817
為替差益	324	—
雑収入	220	87
営業外収益合計	1,498	2,099
営業外費用		
支払利息	135	181
為替差損	—	276
雑支出	4	5
営業外費用合計	139	462
経常利益	4,679	11,474
特別利益		
固定資産売却益	142	30
貸倒引当金戻入額	10	3
特別利益合計	153	34
特別損失		
固定資産処分損	111	179
事業再編損	336	—
投資有価証券評価損	—	180
子会社清算損	—	4
ゴルフ会員権売却損	—	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	44
その他	0	—
特別損失合計	448	409
税金等調整前四半期純利益	4,384	11,099
法人税、住民税及び事業税	628	2,251
法人税等調整額	582	355
法人税等合計	1,210	2,607
少数株主損益調整前四半期純利益	—	8,492
少数株主利益	633	1,384
四半期純利益	2,540	7,107



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,384	11,099
減価償却費	2,691	2,648
負ののれん償却額	△2	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△3
受取利息及び受取配当金	△119	△192
支払利息	135	181
持分法による投資損益(△は益)	△831	△1,817
固定資産処分損益(△は益)	△31	148
売上債権の増減額(△は増加)	△12,900	2,201
たな卸資産の増減額(△は増加)	577	△1,330
仕入債務の増減額(△は減少)	12,914	1,584
その他	△662	359
小計	6,144	14,876
利息及び配当金の受取額	683	503
利息の支払額	△108	△144
法人税等の還付額	296	—
法人税等の支払額	△676	△2,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,339	12,966
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の純増減額(△は増加)	△1	△1
有形固定資産の取得による支出	△576	△1,359
有形固定資産の売却による収入	168	396
投資有価証券の取得による支出	△16	△21
子会社出資金の取得による支出	—	△735
関係会社出資金の払込による支出	—	△304
その他	△112	△177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△538	△2,202
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,329	△79
長期借入金の返済による支出	△139	△103
自己株式の売却による収入	0	1,755
自己株式の取得による支出	△1	△2
少数株主への配当金の支払額	△364	△499
配当金の支払額	△340	△351
その他	△252	△294
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,427	424
現金及び現金同等物に係る換算差額	△496	△1,443
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,876	9,745
現金及び現金同等物の期首残高	9,941	14,610
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	1,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,817	25,585

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	自動車座席事業等	不動産関連事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	133,673	453	134,127	-	134,127
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	133,673	453	134,127	-	134,127
営業利益	3,612	270	3,882	(562)	3,320

(注) 1 事業区分の方法

自動車等の座席及び関連製品の製造・販売に関する事業と、これと全く性質を異にする不動産賃貸に関する事業とに区分しております。

2 各事業の主な製品等

- ①自動車座席事業等…自動車座席・部品の製造・販売及び開発支援、その他製品の製造・販売他
- ②不動産関連事業…不動産賃貸事業

(所在地別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	米国	カナダ	メキシコ	フランス	中国	計	消去又は全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	76,054	27,888	7,232	13,006	479	9,466	134,127	-	134,127
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,502	211	3	672	0	699	4,090	(4,090)	-
計	78,557	28,099	7,235	13,678	480	10,166	138,217	(4,090)	134,127
営業利益又は営業損失(△)	2,142	1,042	△37	△20	△24	767	3,870	(549)	3,320

(注) 国別により区分しております。

(海外売上高)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	米 国	カ ナ ダ	メ キ シ コ	そ の 他	計
I 海外売上高	28,674	6,488	12,964	11,388	59,515
II 連結売上高	-	-	-	-	134,127
III 海外売上高の連結 売上高に占める割合	21.4%	4.8%	9.7%	8.5%	44.4%

(注) 1 国別に区分しております。

2 その他に属する国の内訳は、中国・タイ・英国・マレーシア等であります。

3 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## 〔セグメント情報〕

## ①報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に自動車座席及び座席部品を製造・販売しており、各社ごとに事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、各社別のセグメントから構成されております。なお、経済的特徴等が概ね類似している事業セグメントを集約した結果、「日本」、「米国」、「カナダ」、「メキシコ」、「フランス」、「中国」の6つを報告セグメントとしております。

報告セグメントのうち、「日本」では、自動車座席及び座席部品のほか、不動産賃貸を行っております。

## ②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	日本	米国	カナダ	メキシコ	フランス	中国	計		
売上高									
外部顧客 への売上高	90,064	31,715	10,302	18,888	837	15,358	167,166	-	167,166
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,785	638	-	784	-	2,949	8,156	△8,156	-
計	93,849	32,353	10,302	19,672	837	18,307	175,322	△8,156	167,166
セグメント利益 又は損失(△)	4,647	2,080	459	1,058	△13	1,587	9,819	17	9,837

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額 17百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年4月22日開催の取締役会において、ジョンソンコントロールズ株式会社に対し第三者割当による自己株式処分を行うことを決議し、平成22年5月20日に払込手続きが完了いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が138百万円増加するとともに、自己株式が1,616百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が7,837百万円、自己株式が1,959百万円となっております。